

先週のマーケット動向(10月4日～10月6日)

為替、株式

| | Open | High | Low | Close | Chg |
|---------|----------|----------|----------|----------|--------|
| USD/KRW | 1,360.0 | 1,363.5 | 1,345.4 | 1,349.4 | +0.1 |
| JPY/KRW | 9.1147 | 9.1417 | 9.0602 | 9.0600 | +0.008 |
| KOSPI | 2,435.78 | 2,435.78 | 2,402.50 | 2,408.73 | ▲56.34 |

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇。大型連休明けのドル/ウォンは1,360.0ウォンでオープン。連休中に米金利が上昇を続け米長期金利が4.8%台に乗せる動きを受けドル買いが進行。年初来高値を更新し1,363.5ウォンまで上昇した。5日は海外時間に米金利が低下したことで、ここまでのドル買いが調整される値動きに週安値の1,345.5ウォンまで下落するも、その後は1,350ウォンを回復する値動きとなった。6日も前日と同じく1,345ウォン付近まで下落した後、米雇用統計を控えた警戒感などから終盤にかけて上昇。連休前9月27日対比では+0.1ウォンの1,349.4ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは調整を伴いながら小幅下落する展開を予想。先週末中東での地政学リスクの高まりからややドル買いとなるも、ローガン・ダラス連銀総裁「米長期債利回りの上昇で利上げの必要性は低下も」、ジェファソン・FRB副議長「利回り上昇の引き締めへの影響に留意」との発言から年内利上げ観測が後退。前月末からドルは長期金利の上昇に伴い買われるも、足許では一服感が見られており、今週はその調整が進みドル/ウォンの上値は限定的な推移を想定。一方、12日の米CPI次第では再びドル買いが勢いづく可能性がある点には留意したい。

予想レンジ

| USD/KRW | JPY/KRW | USD/JPY |
|-------------|-------------|---------------|
| 1330 ~ 1360 | 8.90 ~ 9.20 | 147.2 ~ 150.2 |

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 10日(火) 日 8月 国際収支
- 11日(水) 韓 8月 国際収支
- 米 9月 PPI 速報値
- 米 FOMC議事録
- 12日(木) 米 10月 失業保険新規申請者数
- 米 9月 CPI 速報値
- 日 8月 機械受注
- 13日(金) 米 10月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
- 中 9月 PPI 速報値
- 中 9月 CPI 速報値
- 韓 9月 失業率 速報値
- 中 9月 貿易収支 速報値

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。